

学籍、学費に関し、年度末に特に質問の多い項目と回答、注意事項をまとめましたのでご参照ください。

学籍異動願の提出について

(提出期限)

Q 翌年度以降の休学や、今年度いっぱいでの退学等を希望する場合、いつまでに異動願を提出する必要がありますか？

A 翌年度以降の休学（2011年度現在の場合、2012年度の休学）や、今年度いっぱいでの退学（2011年度現在の場合、2012年3月31日付退学）を希望する場合は、基本的に2011年度中（～2012年3月31日）に教職研究科事務所まで異動願を提出してください。

ただし、特に年度末は、次の点に注意してください。

学籍異動については、学生から異動願が事務所に提出されたあと、教職研究科運営委員会にてその可否を審議します。運営委員会での可否決定後、可となった場合、学籍データの異動を行い、異動の許可通知を学生宛にお送りします。

2011年度中に行われる教職研究科運営委員会は、2012年2月の開催が最後となります。この次は、2012年4月下旬に開催されます。

従って、例えば、2011年度いっぱいでの退学を希望する場合、2012年3月に異動願を提出すると、退学の可否の決定が2012年4月下旬となります。

「2012年4月1日には、就職先に退学証明書を提出する必要がある」等、2011年度中に異動許可まで得ておくことが必要な場合は、2月の運営委員会で審議される必要がありますので、2012年2月10日（金）までに、異動願を教職研究科事務所にご提出ください。

延長生について

(延長生となるための手続き)

Q 修了要件のうち、実習単位の修得ができなかった。

次年度以降も延長生として在籍することを希望しているが、どのような手続きをすればよいでしょうか？

A 修了要件を満たしていない場合は、自動的に延長生となりますので、特に手続きは必要ありません。反対に、退学を希望する場合は、退学願を提出する必要があります。また、修了要件を満たした場合は、修了となり、延長生となることはできません。

(延長生の学費)

Q 延長生となった場合の学費はどのようになりますか？

A 延長生の学費は修了に必要な単位があと何単位残っているかで計算されます。詳細は下ページに記載の「延長生の学費について」をご覧ください。

その他、ご不明な点がございましたら、お早目に教職研究科事務所までお問い合わせください。

問い合わせ先：教職研究科事務所 (e-mail: kyousyokuken@list.waseda.jp)

2012年度 延長生の学費について

教職研究科

専門職学位課程；2年制

延長生の学費は、前学期終了時点での修了所要単位の不足単位数を基に算出し、前期・後期ともに下表のと
おりの金額になります。

	授業料	施設費	演習料・実験演習料
不足単位数が4単位以下の方	学期所定額の50% (2012年度は312,500円)	徴収しない	学生健康増進互助会費 1,500円／各期 学会費 250円／各期
不足単位数が5単位以上 16単位以下の方	学期所定額の70% (2012年度は437,500円)		
不足単位数が17単位 以上の方	授業料所定額		

専門職学位課程；1年制

延長生の学費は、前学期終了時点での修了所要単位の不足単位数を基に算出し、前期・後期ともに下表のと
おりの金額になります。

	授業料	施設費	演習料・実験演習料
不足単位数が4単位以下の方	学期所定額の50% (2012年度は390,750円)	徴収しない	学生健康増進互助会費 1,500円／各期 学会費 250円／各期
不足単位数が5単位以上 16単位以下の方	学期所定額の70% (2012年度は547,050円)		
不足単位数が17単位 以上の方	授業料所定額		

●学費口座振替日程

延長生の口座振替日・振込用紙送付日は、下表のとおりとなります。

対象学費	口座振替通知・振込用紙送付時期	口座振替日
前期分	6月中旬（予定）	7月初旬
後期分	11月中旬（予定）	12月初旬

以 上